



日本共産党蕨市議会議員団

左から、鈴木さとし、やまわき紀子、武下涼の各議員
(2026年6月1日・議場にて)

日本共産党 蕨市議団

市民生活と地域経済を まもり、未来に希望を

2026年6月市議会報告

市議団ホームページはこちらから

議会の様子や市議団の政策、市政や市民活動に関するニュースなどを掲載しています。ご意見やご要望、生活相談もこちらから。どうぞお気軽にお寄せください。



市民の願いに応える 2026 年度事業がすすむ

6月議会では、計17件の市長提出議案が審議・可決されました。また、市長報告や一般質問を通して、2026年度予算に基づく事業が具体的に進んでいることが示されました。その中から、日本共産党市議団が実現を求めてきた事業について、一部をお知らせします。

くらし応援券・織りなすクーポン いよいよスタート 使用期間は8月～10月

ひとり7千円の「くらし応援券・織りなすクーポン」。利用期間は8月～10月の3か月間で、利用できる登録取扱店舗は、ポスターやステッカー、のぼり等が目印です。日本共産党市議団は、多くの市民が利用でき、事業者支援と地域活性化にもつながる物価高騰対策として、議会等で繰り返し実施を求めてきました。



きれいで使いやすい学校トイレへ

西・北・中央東・塚越の各小学校でトイレ改修工事が行われ、全小学校で整備が完了します。来年度は全中学校のトイレ整備が完了予定です。

子育て施策の推進

党市議団が要望していた子育て短期支援がスタート。南町では学童保育室が整備されました。

魅力あるまち・活力ある地域へ

にぎわい交流拠点の整備、駅前通りの商店街整備等、地域活性化につながるまちづくりが推進。

中東情勢の 影響は深刻

物価高騰・ナフサ不足からくらし・営業まもる対策を 頼高市長に要望書を提出

日本共産党蕨市議会議員団

「資材が入らず仕事にならない」など、中東情勢のくらしや営業に対する影響は深刻であり、国による責任ある対応が必要です。同時に、最も身近な蕨市政の対応も重要です。7月24日、日本共産党蕨市議団は頼高市長に「物価高騰・ナフサ不足等への対策についての要望書」を提出しました。主な要望内容を紹介します。

- 市内の影響を把握し対策を検討するための全庁的な対応
- 影響が深刻な事業所への給付金などの支援の検討
- 市税・国保税等での減免制度の検討や柔軟な対応
- 国保税率の据え置き等、市民負担を最小限とする対応
- 市立病院建替え事業における影響への対策、関係基金の拡充等
- 国に対し、地域の実情を伝え対応を求める要請を

